

News Release

日本工営 生成 AI を活用したソーシャルリスニングの分析を実現 -既存インフラ（ダム）の有効活用の検討に向けた来訪者満足度調査を生成 AI により効率化-

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦、以下「日本工営」）は、業務効率化や高度化を目的として、生成 AI を活用したソーシャルリスニングの分析を実現しました。

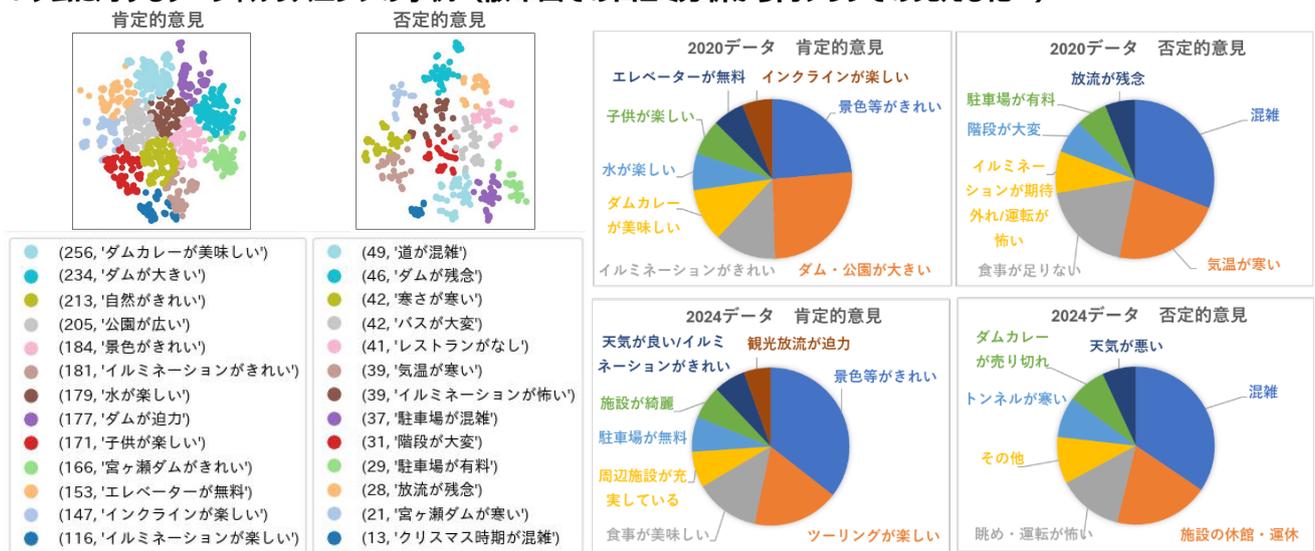
ソーシャルリスニングとは、顧客やユーザーが SNS やブログなどのオンライン空間で発信する情報を収集、分析し、その結果をさまざまな意思決定に活用するマーケティング手法です。この手法の適用により、大量の顧客やユーザーの潜在的な声を収集することで課題を明確化できる一方で、大量の情報を的確に収集し、短時間で分析する必要があります。

このたび日本工営では、生成 AI を活用した自動分析技術を導入して、既存インフラの有効活用や課題（インフラツーリズムや地域連携など）の検討に向けて、ダムを例としてソーシャルリスニングを実施しました。一般的なテキストマイニングに比べ入力データの前処理が不要であるため、工数を従来の 5 割程度に削減でき、短時間で効率的に分かりやすい分析結果を得ることを可能としています。

具体的な活用例として、ダムに対するインターネット上の口コミの解析を行いました。肯定的な意見と否定的な意見の分類から、その理由となる対象物・印象の抽出、結果のグルーピングまでを自動で実施しました。ダムを訪れた人が受けた印象とその理由を明確化することで、来訪者の満足度向上に向けた施策の検討が支援可能となります。また、経年変化を追うことで、人々の利用形態や需要の変化を追跡することも可能としています。

今後、様々な場面で実証実験を行うことで自動分析の精度を高めるとともに、インフラ整備のコンサルティングで培った知見を掛けあわせることで、新たなソリューションの提供を目指してまいります。

●ダムに対するソーシャルリスニングの事例（散布図での口コミ分析から円グラフでの見える化へ）



インターネット上の口コミを分析し、ダムに対するイメージを見える化した画面

ID&Eグループおよび日本工営ではデジタル・トランスフォーメーションを積極的に推進し、今後も先進技術を活用したデータ分析を通じた社会インフラの高度化といった新たな価値を創造してまいります。

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>